

市長記者会見資料  
(報道発表資料)

# 市長就任半年を迎えて

---

# 就任直後からの予算編成

「突き抜ける世界都市」の実現に向けた基盤づくり

## 第一次編成予算

防災・減災、観光課題といった喫緊の社会課題への対応  
(建物等の耐震改修等の支援強化、観光特急バスの新設 など)

## 第二次編成予算

人口流出の抑制につながる施策、  
新たな文化的価値やつよい経済の創出につながる施策  
(安心すまい応援金、創業支援・企業立地促進の強化 など)

## 令和5年度に続く収支均衡予算

持続可能な行財政運営を推進

## 二元代表制の下、緊張感のある市会との質疑

# 対話を重ねて政策を形成する風土づくり

行政・市民、官・民、部局間の垣根を低くする  
シームレスな政策立案・展開へ

## 市民対話会議の創設

今週中に14区・支所を一巡 テーマ別も順次実施

## 庁内議論の活性化

「新しい公共」「市民生活と観光の調和」を検討する  
部局横断のプロジェクトチーム、  
若手職員を中心に課題解決等に取り組む「Mebuki Lab」など

## 特別顧問

今井尚哉氏、植田浩氏、内田由紀子氏、鈴木寛氏、平田オリザ氏  
の5名を任用し、意見交換をスタート  
その他、豊富な知見をお持ちの外部専門家との意見交換も積極的に実施

# 市政全般の点検

市政の内容、市役所職員の姿勢や意識を総点検

## 集中的な政策議論を実施

市民との対話や外部有識者の意見も踏まえて

**点検結果をとりまとめ、行財政改革計画の総括と共に、  
9月中旬に公表**

本日は、半年間の市政運営の中で見えてきた  
**京都の課題と可能性、今後の方向性** をお示しする  
(議論の途上にあるものを含む)

# 行財政運営の課題

---

## 職員の姿勢、意識改革

多くの職員は誇りと使命感を持ち、前向きに業務を遂行しているが、一部の職員の倫理観の欠如や不祥事につながる組織風土に**強い危機感**庁内外の自由闊達な議論により、政策立案力を一層高める必要

### サービス規律・コンプライアンスの徹底

→ 市長をトップとするコンプライアンス推進本部のもと、3つの調査・検証チーム等を立ち上げ、外部有識者の目も入れながら、全庁的な点検を実施中  
原因・課題を分析し、再発防止策を検討

### 職員の使命感・やりがいを高め、 活発に議論する組織風土づくり

→ 部局横断のプロジェクトチームや「Mebuki Lab」創設、特別顧問など専門家や市民との意見交換の機会の創出

## 将来を見据えた行財政運営

行財政改革計画の期間中、財政収支は改善  
緊張感を持った財政運営を継続しつつ

## デフレ時代の行財政改革から、次のステージの改革へ



政策の点検結果を踏まえ、  
まちづくりの目標を達成するための資源投入について検討  
見直すべきものは果断に見直す



「将来のまちづくり、人づくりのため、どこにどういう機能が必要か」  
の観点から、現場・地域のニーズを踏まえ、  
市が保有する資産・施設のあり方や、戦略的な投資を検討

# 京都の課題と可能性

---

# 時代に即した持続可能な地域コミュニティ

高齢化や単身世帯の増加による深刻な担い手不足  
コロナ禍を機に交流機会が減少



多様な主体の発掘と交流・協働の場づくり  
地縁団体とNPO・学生・地域企業等をつなぐ仕組み  
地域特性・課題に応じた伴走支援

# 若い世代に選ばれる子育て・教育・居住環境等の向上



子ども・子育て世代の居場所の創出  
大学・社会・世界とつながる創造的な教育実践  
子育て世帯に手の届きやすい住まいの流通促進

- 公園の魅力向上、公共施設・空間の有効活用
- 市立・府立高校の連携や高大連携による  
探究型教育・STEAM教育の推進
- 大学・大学コンソーシアム京都との連携強化
- 子育て世帯の既存住宅取得の支援

## 文化を基軸とした豊かさの向上



世界の多彩な才能と地域の交ざり合い  
暮らしと共に育まれる文化の振興

- 海外のクリエイティブ人材と地域の知的交流を促す仕組みづくり
- 子どもや若者を含む市民が、伝統文化・音楽・現代アートなど多様な文化に触れる機会の創出

## 京都の価値を継承し、さらに高めるまちづくり

京都の歴史、文化、町並みの象徴である京町家の滅失



京町家の保全・継承に向け、支援措置や規制の在り方など、あらゆる観点から実効性ある方策の検討

## 市民生活と観光の調和

➡ 観光の意義・効果に対する市民の共感の輪の拡大  
多様なエリアの魅力発信による観光振興・分散化

- 宿泊税の引上げ等の検討
- 市バス・地下鉄の市民優先価格への挑戦
- 府市連携による周遊観光の推進

## 産業の創造拠点としての京都の強みの磨き上げ

➡ 国の産業政策の潮流をとらえた産業・企業立地の推進  
多彩な人材の交ざり合いによる  
イノベーション・スタートアップ創出の加速

- 府市連携による半導体関連産業等の振興
- 京都ブランドを活かした企業・人材の呼び込み

# これからの京都のまちづくりの展望

---

## 守り、育み続けなければならない京都の本質的な価値

豊かな生活文化、職住近接・高い時間密度、  
古いものに手を入れて長く使っていく価値観、  
山紫水明の身近な自然、…

まち柄

多彩な才能を有する人材を呼び込み、  
交ざり合いを通じて都市の魅力を高める  
「攻め」の都市経営

ぬか床

全ての方々が互いに支え合い、  
個性を発揮しながら生き生きと活躍される  
「居場所」と「出番」のあるまち

新しい公共

## 次期総合計画

長期ビジョン策定に向け、論点整理を開始しており、  
**秋から議論を本格化**

## 新たな戦略

**長期ビジョンの議論と連動して**  
**具体的な政策・施策を示すため、**  
現行の行財政改革計画の枠組みにとどまらない  
新たな戦略を、今年度中に公表

令和6年8月20日

担当課：総合企画局市長公室政策企画調整担当

問合せ先：075-222-3035